

平成27年度小グループ自主的取組支援事業実績報告

No.	代表者名	補助対象事業名	企画提案事業名	事業報告
1	原野 欽司	情報発信事業	甲府中心市街地再発見番組制作・放送とネットとの連動事業	甲府中心市街地の昭和レトロな路地・横丁を8グループに分け、1年で2グループ制作し、4年ですべての路地・横丁を紹介する番組制作・放送を行う計画の第2弾目で、中心市街地の魅力の再発見、また、そこでしか味わえない人情味や温かさを感じてもらい、「行ってみたい」と思う動機付けになるような番組制作を行った。番組名は「てっ!しらんだけ!甲府ん!路地横丁」で放送時間は60分。今回は、「オリンピック通り街編」と「ちょうちん横丁編」として、各7~9店舗を紹介する2番組を制作・放送を行った。番組だけではなく、チラシ配付、ネット配信、SNSなども連動させたため、行ってみたい、調べてみたい時に、すぐに情報が入手でき、映像としても見られたので、番組終了後は各店舗に、問い合わせも多くなり、新規客の増加等の好影響があった。今後は残りの5グループを紹介していき、中心市街地に賑わいを創出させたいと考えている。
2	越石 寛	交流拠点設置活用事業	マンガ・アニメを活用した甲府中心商店街活性化事業	甲府市中心商店街の空き店舗を活用し、全国商店街などでマンガ・アニメを活用して、地域活性化に繋がった事例等を参考に、地元や来街された子どもから大人までを対象にマンガ・アニメを活用した事業を行った。具体的には、甲府市出身の漫画作家の方や甲府市で活動されている作者などを呼び、サイン会の開催、空き店舗に作品展示、アニメ上映会、えびす講祭りと連動し、アニソンステージとアニメキャラクターショーの開催などを行った。やはり、マンガ・アニメは若い年代層を惹きつける有効なルーツである可能性を知り、今後は地場産品並びに甲府城を中心とした、城下町文化とマンガ・アニメを融合した事業でまちづくりを推進していきたいと考える。
3	福島 敏三	情報発信事業	オリオンスクエア内の情報リニューアル及び組合内の各種情報発信事業	甲府城南商店街振興組合の区域にある、オリオン通りはアーケードのリニューアルを行って5年が経過し、同時にオリオン通りの東に位置するオリオンイストも路面店が全てオープンするなど、大きく変化してきた。しかし、各店舗の情報を発信するようなチラシやマップがリニューアルされておらず、集客に繋がっていなかった。そこで、今回はよつびし総研と連携し、柱に貼られている店舗一覧を、店舗全体、ジャンル別に制作するとともに、山梨県立宝飾美術専門学校とも連携し、学生が制作した作品を写真にして掲示した。また、区域にある店舗を紹介するチラシ&マップを6,000部、さらにはオリオンイストの各店舗に協力してもらい、WEBアイコンの記載のある情報誌を5,000部発行した。主な配付先としては、観光案内所や近隣ホテルへの配付や、チラシ&マップについては新聞店を通じて今後、新規新聞購読者へ配布を行ってもらうなど、新規来街者を増やすとともに、当商店街の認知度を高めて、集客を図っていきたくと考えている。
4	野田 寛	交流拠点設置活用事業	ゲストハウス レンタルコミュニティスペースリノベーション事業	中心市街地遊休スペースである3階建ての建物を活用し、ゲストハウス事業と、地域住民とインバウンドをターゲットとした国際交流拠点として、フリースペースの拡充及び屋上の改修事業を行った。1階部分はフリースペースとして、ミニキッチンや蔭ストープ、卓球台などを新設し、様々なイベントを通して、子どもから大人まで多くの国内外旅行者や地域住民との交流スペースとして活用できた。2・3階部分は女性専用の部屋と混合部屋があり、女性でも安心して宿泊が出来るようにした。また、屋上部分はBBQやキャンプ、ヨガ教室などが行えるスペースになっている。既に全国紙やメディアにも取り上げていただき、認知度が高まっていることを実感できる。今後も多数のイベント開催で、地域住民や異文化との交流を促進させていきたいと考えている。